

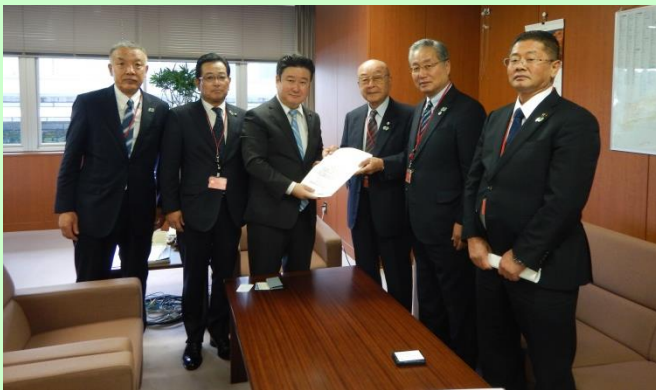
高知県道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 国土交通省への合同提言活動

令和元年10月29日に「高知県道路利用者会議（会長 楠瀬賢一）」と「道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会（会長 池田洋光）」が、高規格道路の早期整備や社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の充実、新たな財源を創設及び令和2年度当初予算の確保などについて、国へ提言を行いました。

● 提言項目

- 一、地域経済の活性化を図り災害への備えを高めるために不可欠な、高規格道路の早期整備
- 一、有料の暫定2車線区間のうち、優先的に4車線化を進める区間として選定された区間の着実な整備
- 一、地方の道路整備を計画的に推進するための、社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の充実
- 一、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の拡充・継続
- 一、予防保全を含む道路の老朽化対策に必要な予算の別枠確保
- 一、長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和2年度当初予算において、整備に必要な予算の確保

● 国土交通省（和田 政宗 政務官）への提言



左から、道全協こうち岩崎副会長(大豊町長)、道全協こうち横山副会長(安芸市長)、和田政務官、高知県道路利用者会議楠瀬会長(高知県ハヤ・ツー協議会会長)、道全協こうち池田会長(中土佐町長)、道全協こうち中平副会長(四万十市長)

【提言概要】

- 高規格道路の早期整備（池田会長）
 - ・ 中土佐町では津波浸水が想定されており、防災拠点の役場や消防署などを、高速道路IC付近の津波の影響を受けない高台に移転を目指している。
 - ・ 防災拠点と高速道路の連携強化により救援部隊の円滑な進出を確保し、住民の命を守るためには、高規格道路の早期整備が不可欠。
- 有料暫定2車線区間の着実な4車線化（池田会長）
 - ・ 平成30年7月豪雨で高知県の人流・物流の大動脈である高知自動車道の立川橋が流失した。
 - ・ 下り線を活用した対面通行によって早期に通行再開が可能となり、広域的な交通の途絶が回避できた。
 - ・ 今回の災害を経験し、4車線化の有用性を実感した。

和田政務官からは、「四国にはまだまだ道路整備が必要。観光振興の後押しや南海トラフ地震等の大規模災害に備えるためにもしっかりと道路整備進めていきます。」と心強いお言葉を頂いた。

● 国土交通省（長橋 和久 道路局次長）への提言



【提言概要】

- 社会整備総合交付金の充実（岩崎副会長）
 - ・ 嶺北地域の観光スポットへのアクセス道路には、普通車同士の行き違いも困難な道路があり、団体客の受入れに課題がある。
 - ・ 地域の隅々に誘客による効果を拡大するためには、社会資本総合交付金の充実による県道や市町村道の整備が不可欠。
- 防災・安全交付金の充実（中平副会長、横山副会長）
 - ・ 市町村管理の橋梁は地域の産業にとって重要な拠点を結んでおり、防災・安全交付金を活用し、着実に修繕を行い、地域の産業を守っていく必要がある。
 - ・ 県道の防災上危険な箇所を防災対策を進めることにより、信頼性が向上し地場産業を支えることが可能。

長橋道路局次長からは「高規格道路の整備はもとより、地域の生産性向上につながる道路整備が必要。防災・減災国土強靱化のための3か年緊急対策についても引き続きしっかりとやっていく。」と理解して頂いた。

地方創生を実現するためには、地方の道路整備は不可欠です。
私達は、整備された道路を活用しストック効果をより拡大することで、経済の活性化につなげます。